

くろしお

【南郷小学校では、こんな児童を育てます】
「豊かな心と自ら学び考える力を持ち、
たくましく生きる児童」

日南市立南郷小学校「学校だより」

平成27年度 NO5 (9月25日(金))

「自ら創り上げる運動会」をめざして

学校の大きな行事の一つである運動会が目前に迫ってきました。ここまで予定どおりの練習を重ねることができており、本番がとても楽しみです。

運動会は、子ども達にとって次のような学習の機会となります。人間的成長をめざす学校行事です。

- ① 練習を通じた体力向上と日ごろの学習成果の発表の機会
- ② 自主性や協調性を養い、役割意識と集団への所属感を培う場
- ③ 発達段階に応じた主体的参加により、達成感や全力で取り組むことの満足感を味わう場

今年度は、特に「子ども達が自ら考え、動き、創り上げる運動会」をめざして、準備を進めています。各競技はもちろんのこと、開閉会式や団での応援態度、あるいは高学年が行う係の仕事などにおいて、子ども達自身が状況を判断しながら自ら考え、動き回る、そんな運動会ができるといいなと考えています。当日、そんな子ども達の姿が見られるよう、職員も気合いを入れて練習に取り組んでいるところです。

地域の方々にもダンスその他の指導でボランティアとして来校いただいています。保護者の皆様を含め、お世話になっている皆さんに「カッコいい姿」を見せようと、子ども達も一生懸命です。子ども達へのご声援、どうぞよろしくお祈りします。



団長の意気込み

赤団団長 (6年1組) ○○ ○○

団のみんなと楽しく協力し、競技も応援も全力を尽くして頑張ります。

赤団、みんなで力を合わせてW優勝するぞ

白団団長 (6年2組) ○○ ○○

今年の運動会は白団のみんなで一致団結し、競技の部も応援の部も1%でも可能性を信じて優勝します。



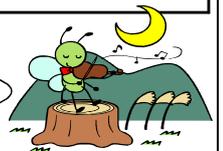
※ 運動会当日のお願いです。一般駐車場は、**必ず南郷総合支所の駐車場**を利用してください。店舗の駐車場は利用できません。併せて**周辺道路の混雑解消**のほか、開閉会式やリレー等の**観戦マナー**、**校内禁煙のマナー厳守**もお願いします。

せっかくの**子ども達の晴れ舞台**です。マナー厳守の呼びかけアナウンスで水を差されることのないよう、どうぞよろしくお祈りします。(※裏面も)

10月の主な行事予定 (※予定です。詳細は文書等で確認を)

- 1日(木) ※振替休業日(10月3日との振替)
- 3日(土) 運動会前日準備(給食あり:4年生以下は午後下校)
- 4日(日) **秋季大運動会**
- 5日(月) ※振替休業日(10月4日との振替)
- 6日(火) 図書司書訪問
- 7日(水) フッ化物洗口 全校集会
- 8日(木) 委員会活動 A L T 訪問
- 9日(金) 読み聞かせ活動(上学年)
- 10日(土)~12日(月) 3連休(事故なく楽しい連休を)
- 13日(火) 図書司書訪問 清掃班長会
- 14日(水) フッ化物洗口 学年集会 交通安全教室
- 16日(金) 読み聞かせ活動(下学年)
- 20日(火) 南那珂地区授業研究会(4年1組)
- 21日(水) フッ化物洗口 教育相談
- 22日(木) A L T 訪問 クラブ活動
- 23日(金) 鑑賞教室
- 24日(土) 処平塾(市教委事業:算数)
- 25日(日) 市総合文化祭 南郷ハートフルまつり(3・6年生参加)
- 27日(火) **日南市陸上教室**(6年生参加)
- 28日(水) ※振替休業日(10月31日の振替)
- 31日(土) **表現集会(発表会)** PTAバザー(午前中授業)

『いのち』という時間



ある雑誌に書かれていたコラムです。紹介します。～「いのち」は、あなたがこの世で使うことのできる時間の長さ。自分だけの時間だけど、自分のためだけでなく、ほかの誰かのためにも使える。誰かのために使うことで「いのちの時間」はその重みを増す。人はそうやって、お互いの「いのちの時間」を分け合って生きていく。

～自分は、誰かのために、どれだけ「いのちの時間」を使っているだろう。今日1日を振り返る。意外に少ない「誰かのために使っている『自分のいのちの時間』」。あの人のために、この人のために、もっともっと思いたい「自分のいのちの時間」。みんなが「人のために使う時間」を大切にしていけたら、どんなに幸せな社会が築けることだろう。

※「自分さえよければ」というような風潮がはびこる現代社会。心に留めたいコラムでした。

[団の色を決めるセレモニー]



☆ あらかじめ決められていたA団とB団。それぞれの団長が壇上で選んだ紐を引いて、各団の色が決定しました。ちなみに全校児童に人気があったのは・・・「赤」でした。



[赤団の結団の雄叫び]



☆ 団長の掛け声の下、リーダーの威勢のよい声に合わせて、赤団全員で雄叫び。



[白団の結団の雄叫び]



☆ 団長の力強い掛け声に合わせて、リーダーとともに雄叫びを上げる白団。



☆ 各団に配属された先生方も、一人一人紹介され、リーダーに負けないくらいの大声でエール。